auAMレバレッジ・ハンセン・中国ファンド（円コース／香港ドルコース）

追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型／その他）

交付運用報告書

第１期（2026年８月21日決算）

作成対象期間（2025年８月22日～2026年８月21日）

＜円コース＞

第１期末（2026年８月21日）	
基準価額	9,913円
純資産総額	10百万円
第１期	
騰落率	△0.9%
分配金	0円

＜香港ドルコース＞

第１期末（2026年８月21日）	
基準価額	11,008円
純資産総額	62百万円
第１期	
騰落率	10.1%
分配金	0円

（注）騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

受益者の皆様へ

平素より格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数のリターンの獲得をめざしております。加えて、香港ドルコースについては、純資産総額程度の香港ドル保有に伴うリターンの獲得をめざしております。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法

右記のURLにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「商品名」から当ファンドを選択⇒「運用報告書（全体版）」を選択

auアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区西神田三丁目２番１号

ホームページ　https://www.kddi-am.com/

お問い合わせ先　03-5657-7185

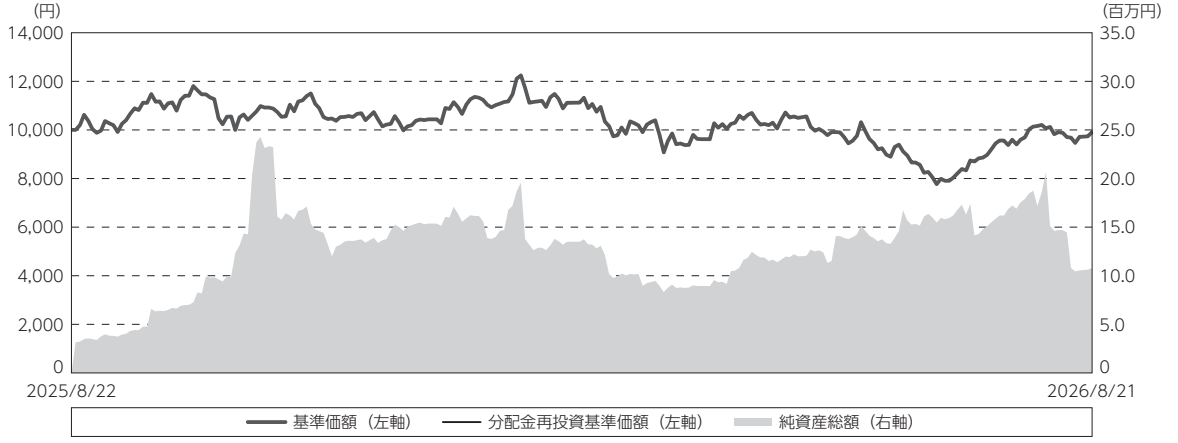
（受付時間 営業日の午前９時～午後５時）

〈円コース〉

運用経過

基準価額等の推移について

（2025年8月22日～2026年8月21日）



設　定　日：10,000円
第 1 期 末：　9,913円（既払分配金（税込み）：0円）
騰　落　率：△ 0.9%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替変動リスクを低減するために為替予約取引等により為替ヘッジを行います。これにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数のリターンの獲得を目指した運用を行った結果、当期の基準価額・分配再投資基準価額は 0.9%下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

１万口当たりの費用明細

（2025年8月22日～2026年8月21日）

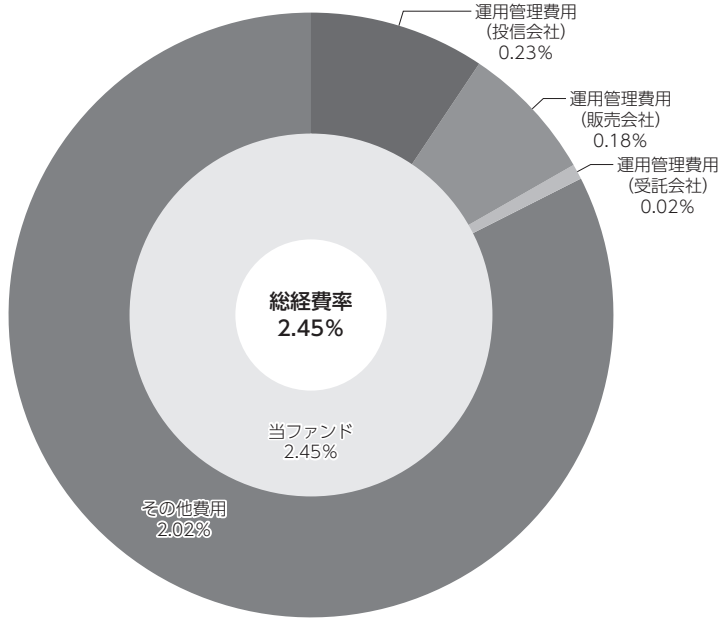
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	44	0.433	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(24)	(0.233)	ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(18)	(0.178)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	19	0.185	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(19)	(0.185)	
(c) その他費用	207	2.020	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(207)	(2.015)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(1)	(0.005)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
合計	271	2.638	
期中の平均基準価額は、10,253円です。			

（注）当期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示しております。

（参考情報）

◯総経費率

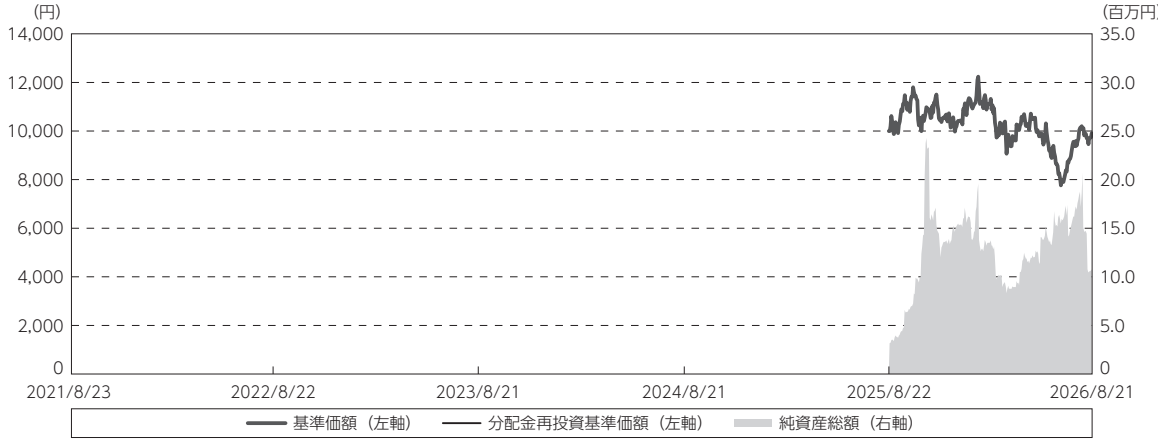
当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１万口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.45％です。



(注) １万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。

最近５年間の基準価額等の推移について

（2025年8月22日～2026年8月21日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2025年８月22日 設定日	2026年８月21日 決算日
基準価額(分配落)　(円)	10,000	9,913
分配金(税込み)　(円)	－	0
分配金再投資基準価額の騰落率（%）	－	△ 0.9
純資産総額　(百万円)	3	10

（注）設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。
（注）騰落率は小数点第１位未満を四捨五入してあります。
（注）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

投資環境

（2025年8月22日～2026年8月21日）

＜株式市況＞

期中のハンセン指数は小幅に上昇しました。期初から９月にかけては、中国当局による景気刺激策への期待やAI･半導体関連分野の成長期待などを背景に、ハイテク株を中心に上昇しました。10月以降は、米中貿易摩擦への懸念や中国景気の先行き不安、AI・ハイテク関連銘柄への高値警戒感などから調整しました。2026年１月には、中国当局による経済・産業支援への期待などを背景に、AI関連株を中心に大きく上昇しました。その後は、高値警戒感や中東情勢の緊迫化などから３月にかけて下落しました。４月には、中国のGDPが市場予想を上回ったことや、AI・半導体関連分野への成長期待などから反発しました。５月以降は、中国の経済指標の下振れや米国の利上げ観測、半導体関連株の反動安などを背景に再び下落しました。７月には、米国の早期利上げ観測の後退や中国の追加景気支援策への期待などから大きく反発し、その後はレンジ圏で推移しました。

ポートフォリオについて

（2025年8月22日～2026年8月21日）

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国ファンド円コース＞

auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替変動リスクを低減するために為替予約取引等により為替ヘッジを行いました。これにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数のリターンの獲得を目指した運用を行いました。

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド＞

株価指数先物取引の買い建玉の時価総額が、原則として純資産総額の２倍程度となるように調整います。為替変動リスクを低減するため為替予約取引等により為替ヘッジを行いました。

ベンチマークとの差異について

（2025年8月22日～2026年8月21日）

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

分配金について

（2025年8月22日～2026年8月21日）

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項　　目	第1期 2025年8月22日～ 2026年8月21日
当期分配金	0
（対基準価額比率）	0.00%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	86

（注）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国ファンド円コース＞

当ファンドの運用方針に基づき、auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の2倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替変動リスクを低減するために為替予約取引等により為替ヘッジを行います。これにより、純資産総額の2倍程度のハンセン指数のリターンの獲得を目指します。

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド＞

株価指数先物取引の買い建玉の時価総額が、原則として純資産総額の2倍程度となるように調整します。為替変動リスクを低減するため為替予約取引等により為替ヘッジを行います。

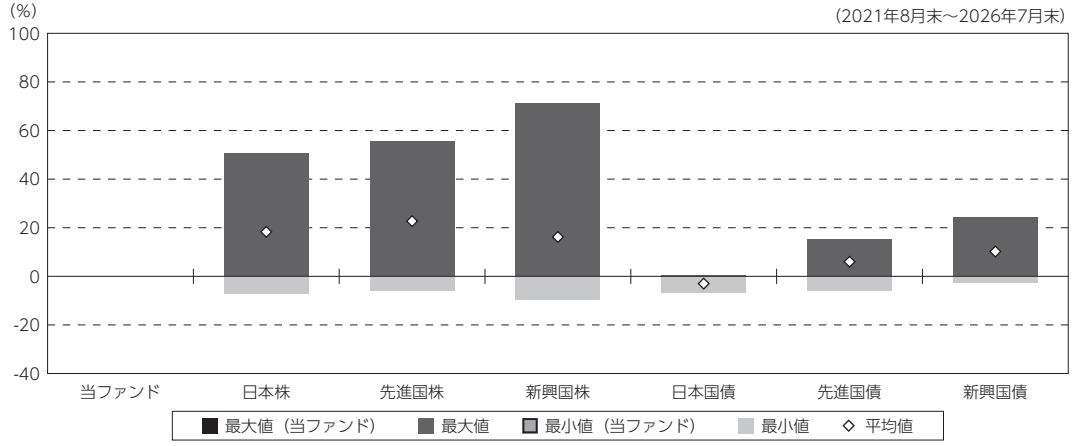
お知らせ

該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）	
信託期間	無期限（2025年８月22日設定）	
運用方針	auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替変動リスクを低減するために為替予約取引等により為替ヘッジを行います。これにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数のリターンの獲得を目指します。	
主要投資対象	ベビーファンド	auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンドの受益証券
	auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド	株価指数先物取引、国内の債券、外国為替取引
ベビーファンドの運用方法	1.主としてマザーファンドを通じて国内の債券に投資するとともに、株価指数先物取引の買い建玉の時価総額が、原則として信託財産の純資産総額の２倍程度になるように調整することで、純資産総額の２倍程度のハンセン指数のリターン獲得を目指します。 2.主としてマザーファンドを通じて為替予約取引等により為替ヘッジを行います。 3.積極的に株価指数先物取引等を活用しますので、デリバティブ取引はヘッジ目的に限定しません。 4.当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行われないことがあります。	
マザーファンドの運用方法	1.主として国内の債券に投資するとともに、株価指数先物取引を買い建てます。 2.株価指数先物取引の買い建玉の時価総額が、原則として純資産総額の２倍程度となるように調整するとともに、為替変動リスクを低減するため為替予約取引等により為替ヘッジを行います。これにより、純資産の２倍程度のハンセン指数のリターンの獲得を目指します。 3.デリバティブ取引の活用はヘッジ目的に限定しません。 4.当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行われないことがあります。	
分配方針	・分配対象額は、経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額を含みます。）および売買益（評価益を含みます。ただし、マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額を除きます。）等の全額とします。 ・原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	－	50.5	55.7	71.2	0.6	15.4	24.5
最小値	－	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	－	18.3	22.7	16.2	△ 3.0	6.0	10.2

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去５年間における年間騰落率（各月末における直近１年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。このため、決算日に対応した数値とは異なります。
※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。
※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
※ファンドの年間騰落率において、過去５年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。
①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

資産クラス	指数名	権利者
日　本　株	TOPIX（配当込み）	株式会社JPX総研
先 進 国 株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み／円ベース）	MSCI Inc.
新 興 国 株	MSCI エマージング・マーケッツ・インデックス（配当込み／円ベース）	MSCI Inc.
日 本 国 債	NOMURA-BPI国債	野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社
先 進 国 債	FTSE世界国債インデックス（除く日本／円ベース）	FTSE Fixed Income LLC
新 興 国 債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）	J.P. Morgan Securities LLC

※上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

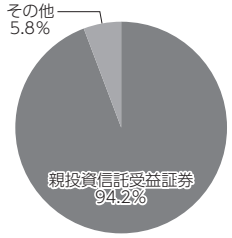
（2026年8月21日現在）

○組入ファンド等

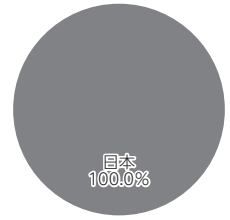
	比率
	%
auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド	94.2
その他	5.8
組入ファンド数	1ファンド

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
（注）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

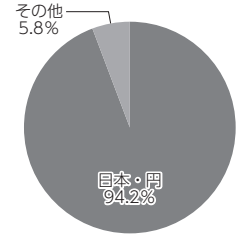
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページ以降の「組入ファンドの概要」に、その内容を掲載しています。

純資産等

項　　目	当期末
	2026年8月21日
純資産総額	10,766,313円
受益権総口数	10,861,112口
1万口当たり基準価額	9,913円

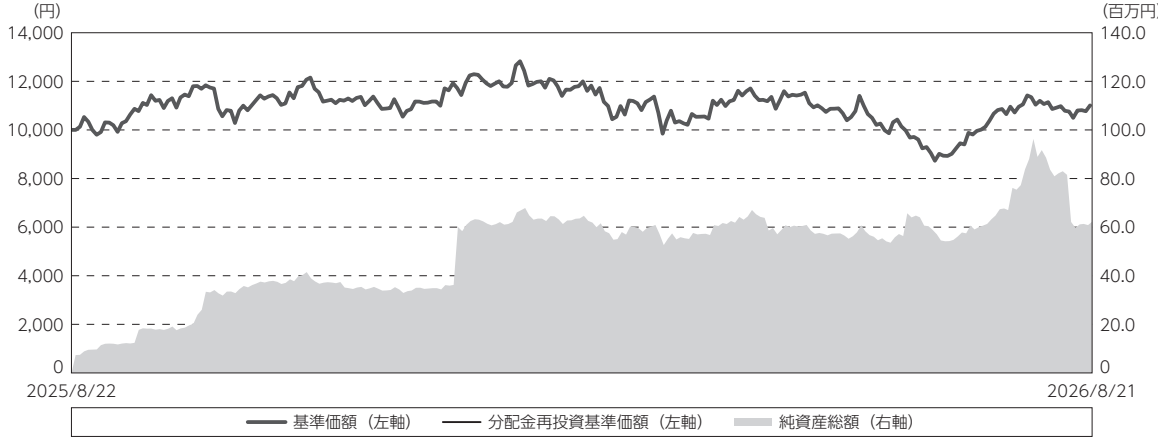
（注）当期中における追加設定元本額は60,529,560円、同解約元本額は52,829,149円です。

〈香港ドルコース〉

運用経過

基準価額等の推移について

（2025年8月22日～2026年8月21日）



設　定　日：10,000円
第 1 期 末：11,008円（既払分配金（税込み）：0円）
騰　落　率：　10.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の 2 倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替予約取引等により純資産総額程度の香港ドルを保有します。これにより、純資産総額の 2 倍程度のハンセン指数のリターンと、純資産総額程度の香港ドル保有に伴うリターンの獲得を目指した運用を行った結果、当期の基準価額・分配再投資基準価額は 10.1%上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

１万口当たりの費用明細

（2025年8月22日～2026年8月21日）

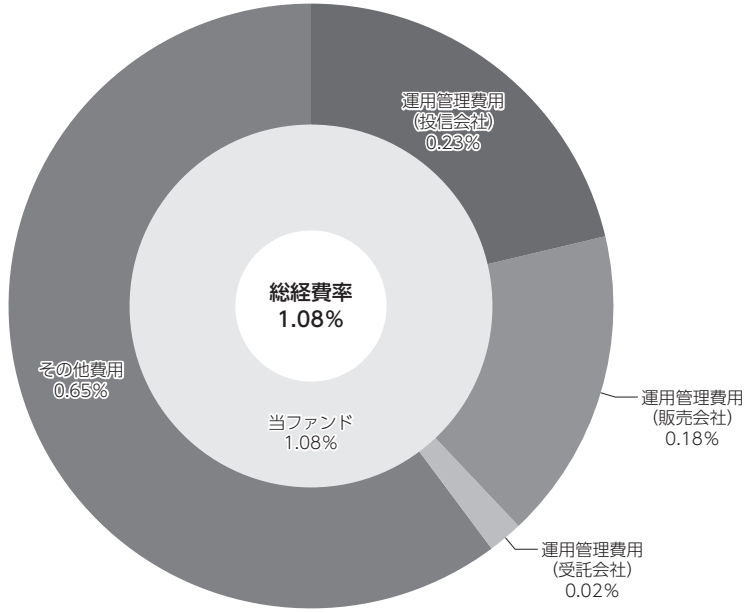
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	48	0.433	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(26)	(0.233)	ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(20)	(0.178)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	21	0.187	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(21)	(0.187)	
(c) その他費用	71	0.649	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.039)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(63)	(0.572)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(4)	(0.038)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
合計	139	1.269	
期中の平均基準価額は、10,986円です。			

(注) 当期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注) 各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
(注) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示しております。

（参考情報）

◯総経費率

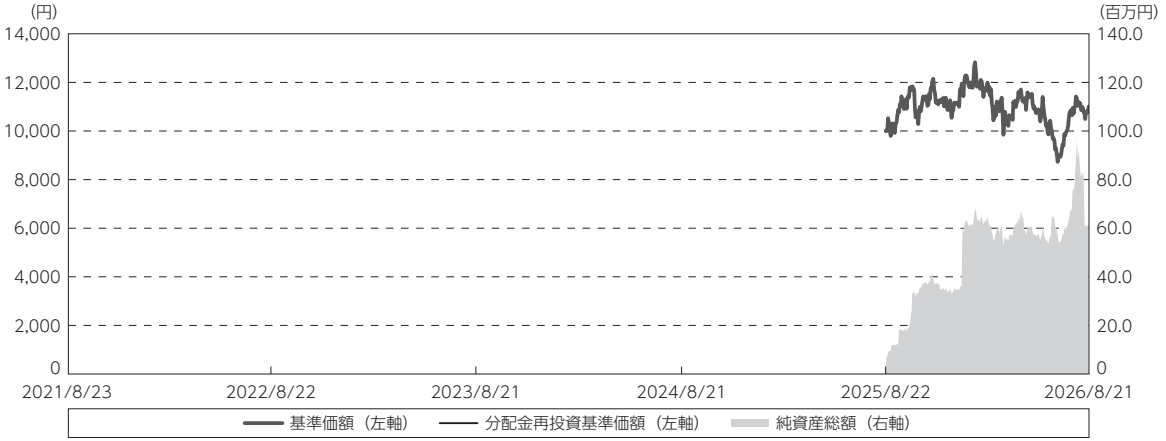
当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１万口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.08％です。



(注) １万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。

最近５年間の基準価額等の推移について

（2025年8月22日～2026年8月21日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2025年８月22日 設定日	2026年８月21日 決算日
基準価額(分配落)　(円)	10,000	11,008
分配金(税込み)　(円)	－	0
分配金再投資基準価額の騰落率（%）	－	10.1
純資産総額　(百万円)	7	62

（注）設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。
（注）騰落率は小数点第１位未満を四捨五入してあります。
（注）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

投資環境

（2025年8月22日～2026年8月21日）

＜株式市況＞

期中のハンセン指数は小幅に上昇しました。期初から９月にかけては、中国当局による景気刺激策への期待やAI･半導体関連分野の成長期待などを背景に、ハイテク株を中心に上昇しました。10月以降は、米中貿易摩擦への懸念や中国景気の先行き不安、AI・ハイテク関連銘柄への高値警戒感などから調整しました。2026年１月には、中国当局による経済・産業支援への期待などを背景に、AI関連株を中心に大きく上昇しました。その後は、高値警戒感や中東情勢の緊迫化などから３月にかけて下落しました。４月には、中国のGDPが市場予想を上回ったことや、AI・半導体関連分野への成長期待などから反発しました。５月以降は、中国の経済指標の下振れや米国の利上げ観測、半導体関連株の反動安などを背景に再び下落しました。７月には、米国の早期利上げ観測の後退や中国の追加景気支援策への期待などから大きく反発し、その後はレンジ圏で推移しました。

＜為替市況＞

期中の為替市場では、円安・香港ドル高となりました。

期初から2025年末にかけては、日本の財政拡大への懸念などから円売りが強まり、円安・香港ドル高基調となりました。2026年１月には円安が一段と進んだ後、日米当局によるレートチェックが実施されたとの観測から為替介入への警戒が高まり、円は対香港ドルで急速に上昇しました。２月には、衆議院選挙を巡る思惑などから上下に振れた後、再び円安・香港ドル高となりました。３月以降は、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇を受けたインフレ懸念や米ドルへの資金流入などを背景に、円安圧力が強まりました。４月末には日本当局による円買い介入を受けて円が急速に上昇しましたが、その後は再び円安・香港ドル高が進みました。７月末以降は、日米による協調介入を巡る報道や、米財務省による超長期国債の買い戻し増額の発表などを背景に、円高・香港ドル安となりました。

ポートフォリオについて

（2025年8月22日～2026年8月21日）

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国ファンド香港コース＞

auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替予約取引等により純資産総額程度の香港ドルを保有します。これにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数のリターンと、純資産総額程度の香港ドル保有に伴うリターンの獲得を目指した運用を行いました。

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド＞

株価指数先物取引の買い建玉の時価総額が、原則として純資産総額の２倍程度となるように調整います。為替変動リスクを低減するため為替予約取引等により為替ヘッジを行いました。

ベンチマークとの差異について

（2025年8月22日～2026年8月21日）

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

分配金について

（2025年8月22日～2026年8月21日）

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項　　目	第1期 2025年8月22日～ 2026年8月21日
当期分配金	0
（対基準価額比率）	0.00%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,039

（注）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国ファンド香港コース＞

当ファンドの運用方針に基づき、auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の2倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替予約取引等により純資産総額程度の香港ドルを保有します。これにより、純資産総額の2倍程度のハンセン指数のリターンと、純資産総額程度の香港ドル保有に伴うリターンの獲得を目指します。

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド＞

株価指数先物取引の買い建玉の時価総額が、原則として純資産総額の2倍程度となるように調整します。為替変動リスクを低減するため為替予約取引等により為替ヘッジを行います。

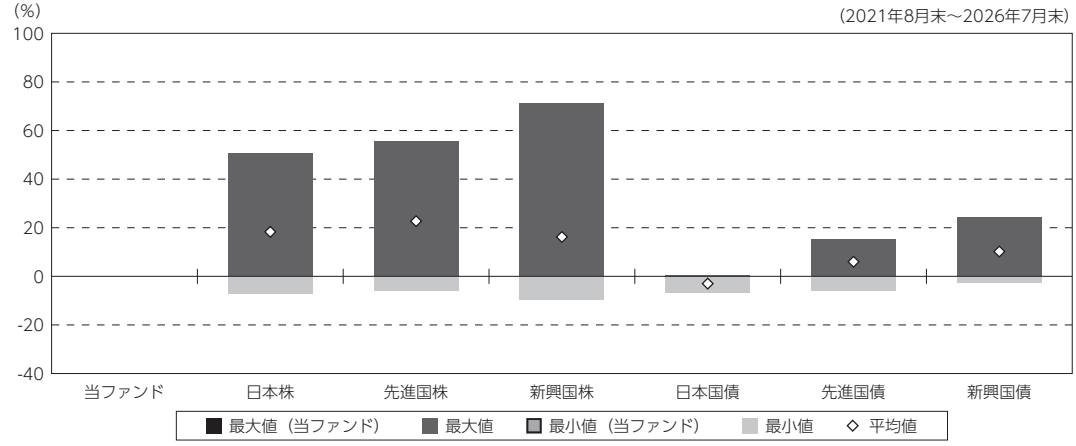
お知らせ

該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（その他）	
信託期間	無期限（2025年８月22日設定）	
運用方針	auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替予約取引等により純資産総額程度の香港ドルを保有します。これにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数のリターンと、純資産総額程度の香港ドル保有に伴うリターンの獲得を目指します。	
主要投資対象	ベビーファンド	auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンドの受益証券、外国為替取引
	auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド	株価指数先物取引、国内の債券、外国為替取引
ベビーファンドの運用方法	1.主としてマザーファンドを通じて国内の債券に投資するとともに、株価指数先物取引の買い建玉の時価総額が、原則として信託財産の純資産総額の２倍程度になるように調整することで、純資産総額の２倍程度のハンセン指数のリターン獲得を目指します。 2.主として為替予約取引等により香港ドルを保有することで、純資産総額相当の香港ドル保有に伴うリターンの獲得を目指します。 3.積極的に株価指数先物取引等を活用しますので、デリバティブ取引はヘッジ目的に限定しません。 4.当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行われないことがあります。	
マザーファンドの運用方法	1.主として国内の債券に投資するとともに、株価指数先物取引を買い建てます。 2.株価指数先物取引の買い建玉の時価総額が、原則として純資産総額の２倍程度となるように調整するとともに、為替変動リスクを低減するため為替予約取引等により為替ヘッジを行います。これにより、純資産の２倍程度のハンセン指数のリターンの獲得を目指します。 3.デリバティブ取引の活用はヘッジ目的に限定しません。 4.当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行われないことがあります。	
分配方針	・分配対象額は、経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額を含みます。）および売買益（評価益を含みます。ただし、マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額を除きます。）等の全額とします。 ・原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	－	50.5	55.7	71.2	0.6	15.4	24.5
最小値	－	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	－	18.3	22.7	16.2	△ 3.0	6.0	10.2

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去５年間における年間騰落率（各月末における直近１年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。このため、決算日に対応した数値とは異なります。
※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。
※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
※ファンドの年間騰落率において、過去５年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。
①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

資産クラス	指数名	権利者
日　本　株	TOPIX（配当込み）	株式会社JPX総研
先 進 国 株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み／円ベース）	MSCI Inc.
新 興 国 株	MSCI エマージング・マーケッツ・インデックス（配当込み／円ベース）	MSCI Inc.
日 本 国 債	NOMURA-BPI国債	野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社
先 進 国 債	FTSE世界国債インデックス（除く日本／円ベース）	FTSE Fixed Income LLC
新 興 国 債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）	J.P. Morgan Securities LLC

※上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

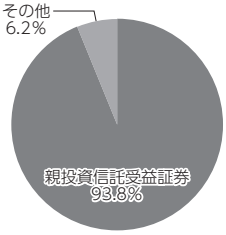
（2026年8月21日現在）

○組入ファンド等

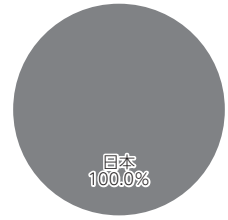
	比率
	%
auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド	93.8
その他	6.2
組入ファンド数	1ファンド

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
（注）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

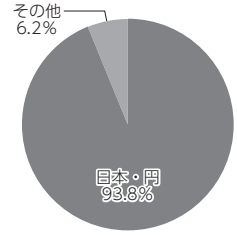
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページ以降の「組入ファンドの概要」に、その内容を掲載しています。

純資産等

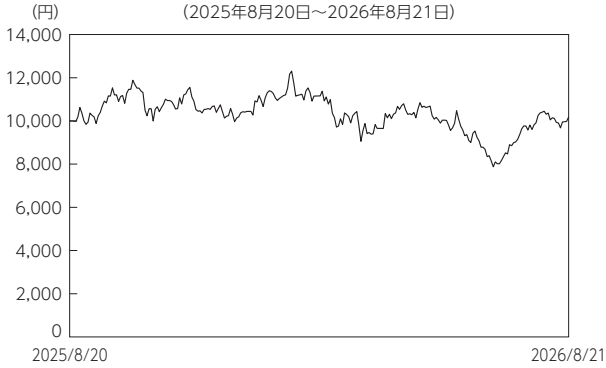
項　　目	当期末
	2026年8月21日
純資産総額	62,199,465円
受益権総口数	56,502,394口
1万口当たり基準価額	11,008円

（注）当期中における追加設定元本額は129,279,126円、同解約元本額は80,123,676円です。

組入ファンドの概要

auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド

○基準価額の推移について



○１万口当たりの費用明細

(2025年8月20日～2026年8月21日)

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	19	0.188
(先物・オプション)	(19)	(0.188)
(b) 有価証券取引税	－	－
(c) その他費用	1	0.006
(その他)	(1)	(0.006)
合計	20	0.194

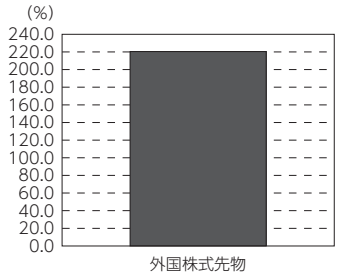
(注) 項目等詳細につきましては運用報告書（全体版）に記載しております。

○組入上位銘柄

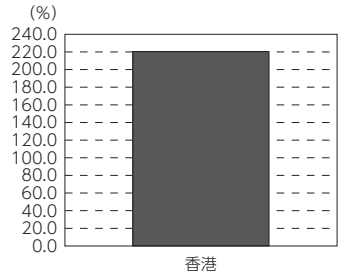
(2026年8月21日現在)

	銘柄名	通貨	比率
			%
1	HANG SENG IDX FUT	香港・ドル	220.4
組入銘柄数		1銘柄	

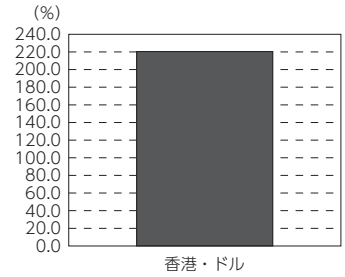
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。